

PX10/PX8 PX5/PX3

取扱説明書

このたびは、ヤマハパワーアンプリアイヤー PX10/PX8/PX5/PX3をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。PXアンプの優れた機能を十分に発揮させるとともに、未永くご愛用いただくために、この取扱説明書をご使用前に必ずお読みください。

また、ご一読いただいたあとも、不明な点が生じた場合に備えて、大切に保管いただきますようお願いいたします。

- 裏面の「安全上のご注意」をご使用前に必ずお読みください。
- この取扱説明書に掲載されているイラストは、すべて操作説明のためのものです。
- この取扱説明書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。
- この取扱説明書では、パワーアンプリアイヤー PX10/PX8/PX5/PX3を総称して「PXアンプ」と呼びます。
- この取扱説明書では、特に断りがなければPX10のイラストを使用しています。
- PXアンプの設定方法には、ベーシックモードとアドバンスモードの2種類があります。この取扱説明書ではベーシックモードについて説明しています。詳細な設定はアドバンスモードを使用してください。アドバンスモードについては、「PX10/PX8/PX5/PX3リファレンスマニュアル」を参照してください。

「PX10/PX8/PX5/PX3リファレンスマニュアル」は、PDF形式の電子ファイルになっています。このファイルは、コンピューターでご覧いただけます。コンピューターでご覧いただくソフトウェアとして「Adobe® Reader®」を使うと、用語をすばやく検索したり、必要な部分だけを印刷したり、リンクをクリックして該当する項目を開いたりすることができます。特に用語検索とリンク機能は、電子ファイルならではの便利な機能です。ぜひご利用ください。

最新のAdobe Readerは下記のウェブサイトからダウンロードできます。
<http://www.adobe.com/jp/>

特長

- 軽量ながら最大1000Wもの高出力を実現(PX10)
- ヤマハ独自のClass-D技術とプロセッシング技術により高音質と高信頼性を実現
- ヤマハスピーカーの性能を最大限に引き出すスピーカープリセット
- D-CONTOURを始めとするさまざまなDSP機能
- 各種スピーカーへの最適設定を可能にするコンフィグウィザード
- 豊富な入出力端子

付属品

- 電源コード
- 3芯-2芯変換プラグ
- 取扱説明書(本書)
- Technical Specifications(スペックシート、英文)
- 電源コード誤脱防止クランプ
- USBキャップ

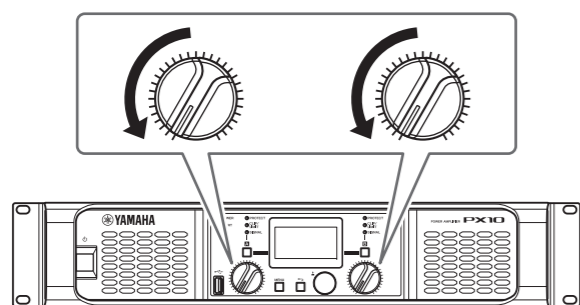
注意
USBキャップは、子供が誤って飲み込まないように、子供の手の届かないところに保管してください。

セットアップ

ボリュームノブを適切に設定するだけで、通常のアンプとして使用できます。次の設定で、スピーカーの性能をより発揮させることができます。

事前準備

必要に応じて、PXアンプをラックマウントします。
電源がオフになっていることを確認し、ボリュームノブを2つとも左いっぱいに戻します。



この取扱説明書では、操作方法を以下の記号で説明しています。

① - [(項目名)] : メインノブを回して「(項目名)」を選びます。

② : メインノブを押します。

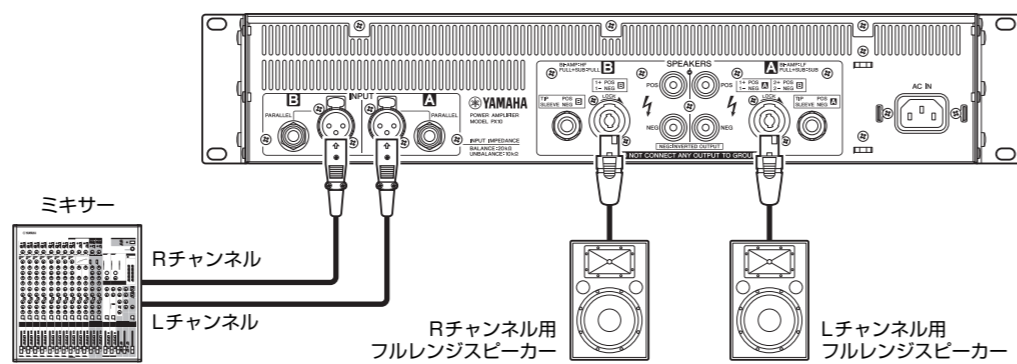
MENU : [MENU]キーを押します。

③ : [←] (バック)キーを押します。

A → B : Aの操作のあと、Bの操作をします。

手順間の矢印は、基本的な操作手順を実際(↓)で、前の画面に戻る操作を点線(↑)で示します。

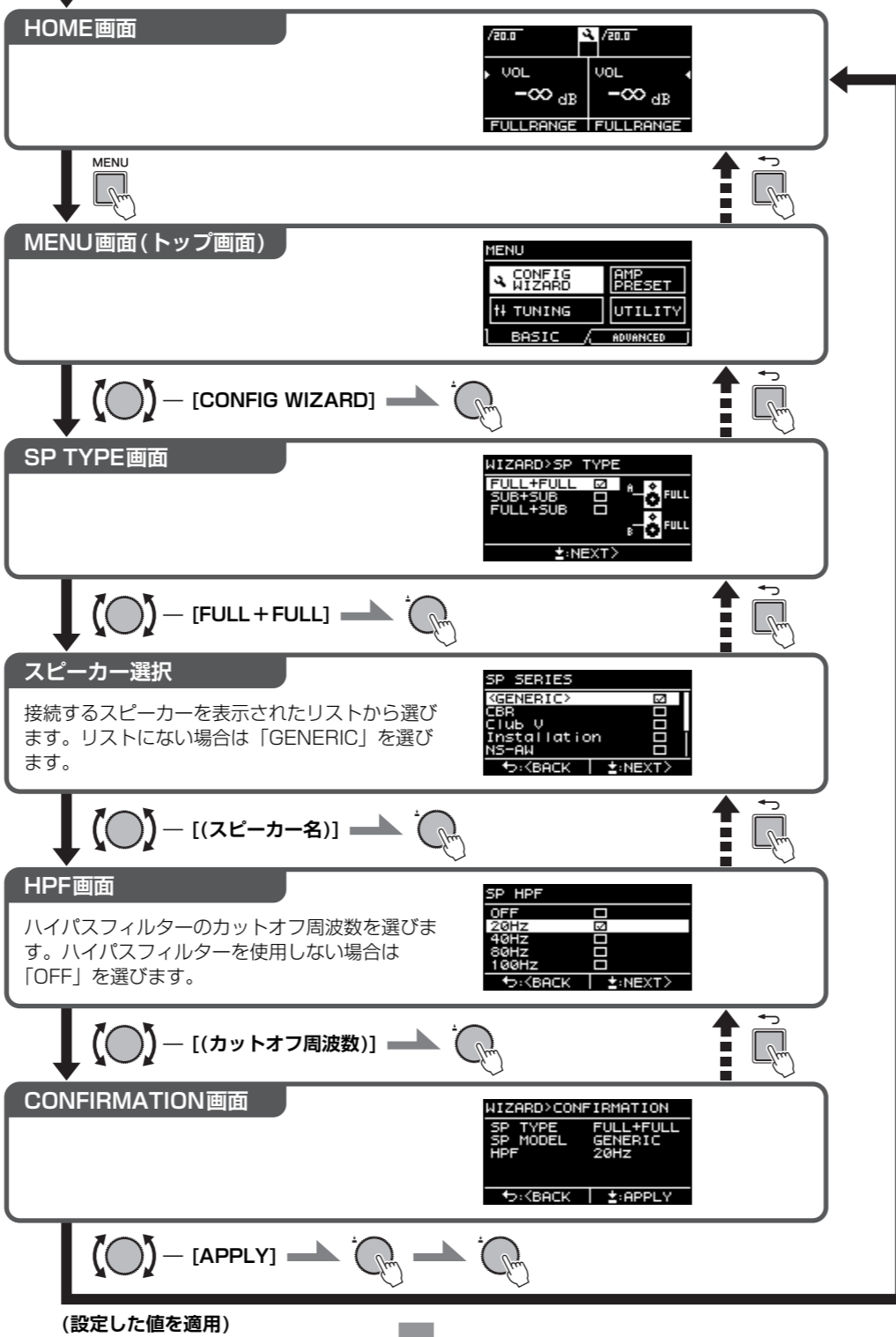
ステレオ接続 (フルレンジスピーカーを2台使用)



注意
「事前準備」を必ず実施してください。電源が入った状態で接続しないでください。

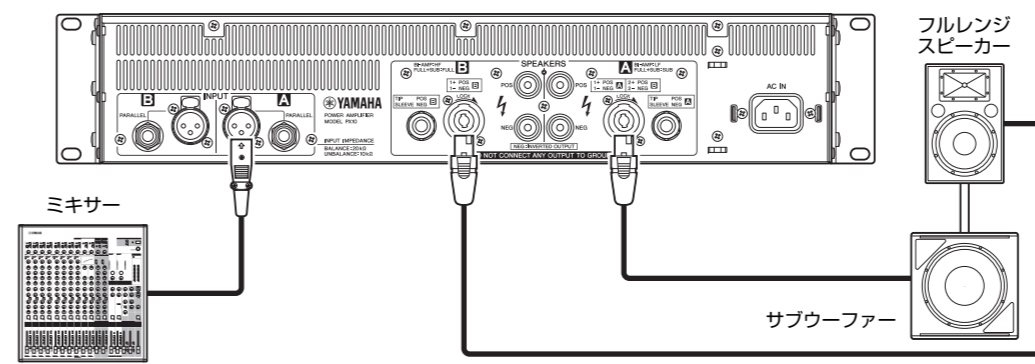
- [SPEAKERS] A端子にLチャンネル用のフルレンジスピーカー、[SPEAKERS] B端子にRチャンネル用のフルレンジスピーカーを接続します。
- [INPUT] A/B端子に音源(ミキサーなど)からの出力を接続します。[INPUT] A端子にLチャンネル、[INPUT] B端子にRチャンネルを接続します。
- 電源コードを接続し、電源を入れます。最初に本体と電源コードを接続してから、電源コードをコンセントに差し込んでください。
- 誤って電源コードがAC IN端子から外れないように、付属の誤脱防止クランプで電源コードを固定してください。取り付け方法は裏面の「リアパネル」を参照してください。

NOTE
詳細は裏面の「接続方法」を参照してください。



(設定した値を適用) 「音質調整」に進んでください。

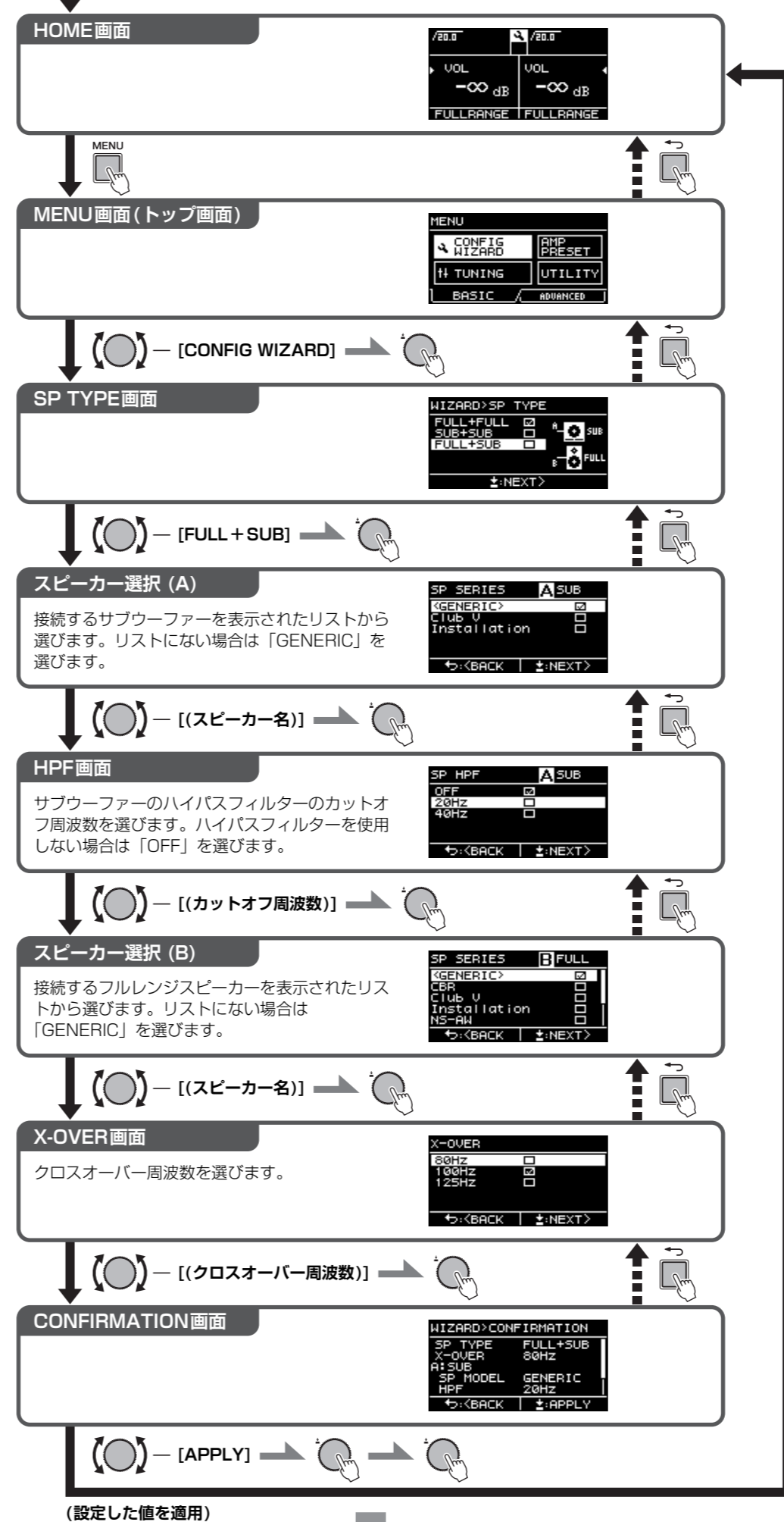
クロスオーバー接続 (フルレンジスピーカーとサブウーファーを1台ずつ使用)



注意
「事前準備」を必ず実施してください。電源が入った状態で接続しないでください。

- [SPEAKERS] A端子にサブウーファー、[SPEAKERS] B端子にフルレンジスピーカーを接続します。
- [INPUT] A端子に音源(ミキサーなど)からの出力を接続します。
- 電源コードを接続し、電源を入れます。最初に本体と電源コードを接続してから、電源コードをコンセントに差し込んでください。
- 誤って電源コードがAC IN端子から外れないように、付属の誤脱防止クランプで電源コードを固定してください。取り付け方法は裏面の「リアパネル」を参照してください。

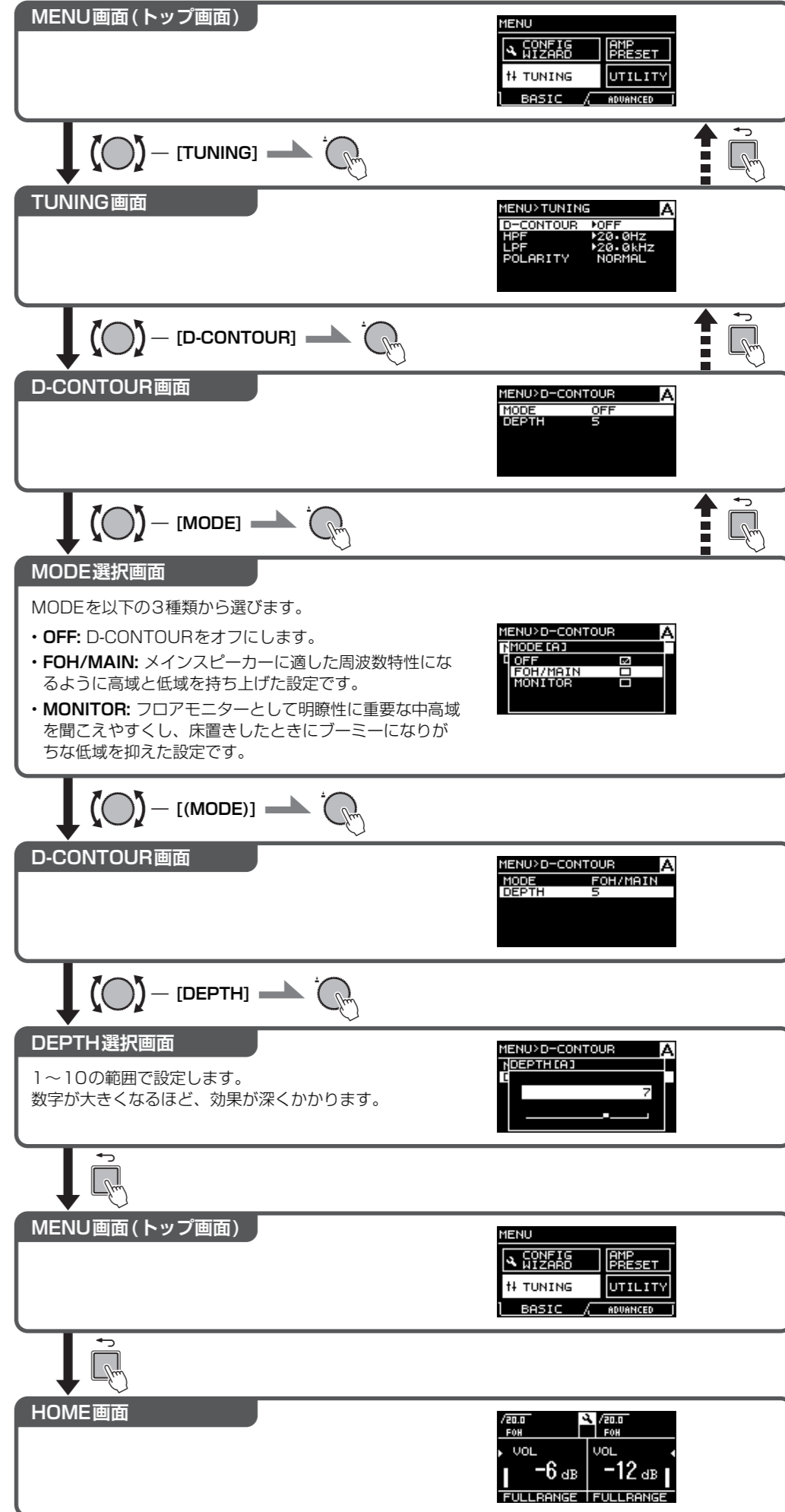
NOTE
詳細は裏面の「接続方法」を参照してください。



(設定した値を適用) 「音質調整」に進んでください。

音質調整

音源から信号を入力し、ボリュームノブを少しずつ右に回して、スピーカーから音がでることを確認し、適切な音量に調節します。



- NOTE**
- Aチャンネルをミュートするには、[A]キーとメインノブを一緒に押します。ミュートを解除するには、もう一度[A]キーとメインノブを一緒に押します。
 - Bチャンネルをミュートするには、[B]キーとメインノブを一緒に押します。ミュートを解除するには、もう一度[B]キーとメインノブを一緒に押します。

